

# 1年2組「道徳の時間」学習指導案

指導者 三戸 学

- 1 主題名 向上心 内容項目 1 - (5)  
資料名 「踏まれてタンポポ」 (「自分を見つめる」あかつき)

## 2 主題設定の理由

(1)

「夢に向かって、生きる」ことは素晴らしい。人間として、より良く生きるには、目標や夢を持つことが大切である。最近、その素地になる「夢を抱くことが困難である」と指摘されている。変化の激しい時代だからこそ、しっかりと夢や目標を持ちたいと考える。

一人ひとりの人間には、必ずその人固有の良さがある。その良さを生かして伸ばそうとする努力の積み重ねが、これからの自分の人間としての生き方を考えていく上で大切なことであり、それが夢や目標に結びつくものとする。また、これは生涯の課題であると思う。夢は必ず実現するとは限らない。しかし、継続して努力(=向上心)することが大切であり、無駄になるものでないということをしっかりと噛み締めた。

(2)

男子21名、女子17名の計38名。元気で、活発なクラスである。中学校に入学して、1年が過ぎようとしている。一人ひとりの生徒は自分なりの夢や希望、期待と不安を持ち、中学校に入学してきたと思う。しかし、最近の生活を見ていると、“その日、その日が楽しければ良い”という雰囲気漂っているような気がする。

中学生の時期は、人間の生き方への強い関心があり、自分の人生をより良く生きたいという願いを持っている。それは自己の探求、理想の追求である。様々な経験を通して、自分を見つめ、自分の生き方を模索している。これは自己確立の営みである。自己確立の営みのなかで、夢や理想は大きな役割を果たす。中学生の時期に、どのような夢と理想を描くかということが、その後の人生に大きな意味を持つように思う。また、夢を語り合うことのできる友だちは貴重な存在であるような気がする。そのため、学級で「夢」について語り合うことにより、お互いを励まし合って高め合っていく雰囲気を作っていききたい。夢や目標を持って生きていくことは、自己を向上するものであることを実感させたい。しかし、やや漠然とする生徒もいると思う。そこで、具体的に部活動や係活動・委員会活動など様々な日常場面で、どのような行動が自己を向上することにつながるのか、考えさせたい。

中学1年が終わろうとしている時期に、より良く生きていくためにはどのようにすれば良いのか、今までの生活を振り返り、見直していくことで、2年生の生活の展望を図っていききたい。

(3)

この資料は役者にあこがれ、それを目指した川谷さんの生き方を紹介している。その道のりは決して、順調ではなかった。しかし、自分の夢に向け、ひたむきな気持ちを持ち続け、自分を生かすために懸命な努力を積み重ねたことで、その夢を実現させた話である。筆者の生き方は生徒の心に届き、一人ひとりの生徒が自己を見つめるきっかけになると思われる。人間として、自らの人生をどう生きるのか、一人ひとりの生徒に問いかけ、自らの人生を切り開く力が身につくように指導していききたい。

## 3 指導計画(2時間)

第1次	・アンケートに答える。【(1) あなたの夢を聞かせて下さい。(2) あなたの夢を実現するには、どうしたら良いでしょうか。また、あなたが夢の実現のため、日頃から心掛けていることがあれば、書いて下さい】 ・「踏まれてタンポポ」を読んだ感想を書く。
第2次	・「踏まれてタンポポ」の資料により、川谷さんの生き方を通して、より良く生きるためには何が大切であるかについて、話し合う。

#### 4 本時の学習（2 / 2）

##### （1） 本時のねらい

- ・ 川谷さんの生き方を通して、生徒一人ひとりの夢を育み、目標を目指して生きることの重要性に気づき、毎日の生活に結びつけ、より良く生きるための向上心を養う。

##### （2） 指導過程

	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	教師の支援
導入	<p>・ 事前資料を基にして、クラス仲間の夢とその実現方法を紹介する。そして、川谷さんの夢も確認することにより、本時の学習の動機付けをする。</p> <p><u>川谷さんの役者生活はどうだったのだろうか。</u></p> <p><u>川谷さんは謹慎処分をどのように受け止めたのだろうか。</u></p> <p><u>「ふまれて タンポポ ひらいて タンポポ」という言葉に込められた川谷さんの気持ちは、どんな気持ちだろうか。</u></p> <p><u>川谷さんの生き方を通して、自分の夢に向かって、日頃の生活をどのようにすると良いのだろうか。</u></p> <p>・ 「心掛けていきたいこと」をプリントに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ すごい。</li> <li>・ いつまで経っても、同じ役しか与えられない。</li> <li>・ 才能がないと感じた。</li> <li>・ いじめられた。</li> <li>・ 山あり谷あり。</li> <li>・ 改めて、自分の夢に気づく。</li> <li>・ 役者が続けられるので、嬉しかった。</li> <li>・ 役者に対する考え方が変わった。</li> <li>・ どんな時も自分は自分なんだ。</li> <li>・ 役者になることが夢だから。</li> <li>・ 謙虚な心で生きること。</li> <li>・ 精一杯やること。</li> <li>・ 自己満足。</li> <li>・ 最後まで諦めない強い意志。</li> <li>・ 努力。</li> <li>・ 自分の良さを知ること。</li> <li>・ 夢は積み重ねだから、毎日の生活を大切にする。</li> <li>・ いろんなことに興味を持つ。</li> <li>・ 早く、夢や目標を持つ。</li> <li>・ 自分の夢を大切にする。</li> </ul>	<p>事前にかけてもらったアンケート内容の一部を紹介する。</p> <p>「川谷さんの役者生活は、いつも順調だったのだろうか」と、補助発問を工夫することにより、川谷さんの役者生活をしっかりと捉えさせる。</p> <p>川谷さんの気持ちの動きを考えさせる。</p> <p>川谷さんにとって、「夢」はどのようなものであるか、じっくり考えさせたい。 自由に語り合える雰囲気作りに努める。</p> <p>毎日の生活を振り返り、自分を見つめる。 より良く生きるためには、毎日の中で、どうすれば良いか、考えさせる。</p>
終末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師の説話</li> <li>・ 授業を終えて、学んだことを書く。</li> </ul>		<p>夢は実現に向けて、がんばるものである。そのためには小さな積み重ねが大切であり、毎日の生活を振り返り、できることから自ら高めようとする力を養いたい。</p>

資料の主な場面

役者になりたくて、中学を卒業してすぐに京都の東映撮影所に入った。通行人の役が与えられた。

いつまで経っても同じ役ばかり。人間関係にも、とても苦しんでいた。心が荒んでいく中で、ある日、酒に酔い、暴力を振う。

2ヶ月の謹慎処分。それから、役作りに懸命になる。その姿が深作監督の目に止まる。

映画のポスターに、自分の名前が掲載され、その前に長い間、たがずんだ。

いつもと変わらぬ姿勢。

主人公の心の動き

役が与えられて、とても嬉しかった。一生懸命に役を演じて、早く一人前になろうと思った。

何度も夢を諦めようとした。しかし、諦めきれない。飲み屋で失態をして、自分を自分で責める。役者の道が閉ざされる。動揺する。

一時諦めかけた役者を続けることができ、嬉しい。

演技することが本当に好きだから…どんなことにも…

主な発問

どうして、心が荒んでいったのだろうか。どうして、夢を諦めなかったのだろうか。

川谷さんは、どんな気持ちだったのだろうか。

どうして、川谷さんは「ふまれて タンポポ」の歌ひらいて タンポポに自分の生き方を重ねて、共感できるのだろうか。

自ら、またはお互いに高めていくために、毎日どのような過ごしと良いだろうか。

価値

・自身喪失  
・自己を見つめる

・生きる自信  
・精一杯  
・謙虚心

・向上心